

新公立病院改革プラン 平成29年度実績報告（浜松市リハビリテーション病院）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	平成29年度 目標（A）	平成29年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
手術件数	350人	342人	△8人	97.7%
紹介率	30.0%	31.8%	1.8ポイント	—
リハビリ件数	490,000件	505,773件	15,773件	103.2%
その他				
患者満足度	96.0%	96.6%	0.6ポイント	—

- ・ 地域ニーズに応えられるように、職員の確保に努め入院体制を整備したことによって、入院患者数が目標を上回ったため、手術件数は目標値に若干届かなかったものの、リハビリ件数は大幅に上回ることができた。
- ・ 患者一人あたりのリハビリ提供単位数増加を目標とし実践したことで、平成29年8月よりリハビリ単位数の充実加算の算定を開始した。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標に対する実績）

収支改善に係る指標	平成29年度 目標（A）	平成29年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
経常収支比率	98.6%	98.9%	0.3ポイント	—
医業収支比率	89.0%	90.8%	1.8ポイント	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	78.3%	76.1%	△2.2ポイント	—
材料費対医業収益比率	8.8%	8.3%	△0.5ポイント	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	75,919人	77,862人	1,943人	102.6%
入院診療単価	35,858円	35,993円	135円	100.4%
外来患者延べ数	44,176人	46,137人	1,961人	104.4%
外来診療単価	7,118円	7,034円	△84円	98.8%
病床利用率	92.4%	94.8%	2.4ポイント	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	16人	16人	0	100.0%
企業債残高（百万円）	5,544百万円	5,544百万円	0百万円	100.0%

- ・ 経常収支比率、医業収益比率においては、回復期リハビリテーション基本料の上位基準の算定とリハビリ単位数の増加による収益増により、目標値を上回ることができた。
- ・ 経費削減に努めるとともに、収入確保に係る指標となる入院・外来患者数の目標値を大きく上回り、収益増加に繋げることができた。
- ・ 地域ニーズの高い「えんげと声」「スポーツ医学」「高次脳機能」など、特色ある医療を提供することができた。

3 再編・ネットワーク化について

- ・ 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制等が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- ・ 指定管理者（聖隷福祉事業団）により、専門的かつ高度なリハビリテーションを提供できていること、効率的な運営が行われていることから、引き続き指定管理者による運営を行っていく。